

BE WILD

2008.11 活動報告
日本ボーイスカウト阿見第1団
<http://www.bs-ami.net>



● カブ隊、小池城址公園でのネイチャーゲーム

●阿見第1団「団委員会」の紹介

団委員長 若泉 徳士

今月から阿見第1団の紹介をしていきます。まず先月にご紹介した「育成会」。これが阿見第1団の運営母体となっています。団には運営面を担当する「団委員会」と教育面を担当する「隊」があります。団委員会は、育成会から選出された団委員と、その団委員の互選によって選任された団委員長でその任務を行っています。今回は、その団委員会についてご紹介しましょう。

①団委員会とは

育成会より選出された団委員によって運営する委員会で、団の運営全般を任されています。

②団委員会の役割

団資産の管理、団財政の管理、隊運営・活動の支援、隊指導者の研修等の援助、入退団管理・加盟登録、制服等

の調達等が、団委員会の主な役割です。

③団委員会の個々の役割・メンバー

- ・団委員長（若泉）
団の代表で、団運営の舵取り役
 - ・総務委員（遠藤・高野）
団の事務局、団委員長の補佐役
 - ・需品委員（中川）
スカウト用品の管理
 - ・財務委員（豊田）
団財政の管理・運営
 - ・備品委員（望月・矢吹・平田・入江）
団備品の管理
 - ・進歩委員（関口）
スカウト進歩の管理
 - ・顧問（石井）
団委員長OBで団委員会の相談役
- ④団委員会はこんなこともしています
- ・町の青少年育成町民会議の委員とし

て、青少年育成の役割を担っています。

- ・町子連の球技大会や野外活動体験の支援を行っています。
- ・町の環境団体のフォーラムのパネラー
- ・まいあみまつり実行委員



●スカウトの安全のために雪中でも下見は欠かせません。

阿見第1団の11月のトピックス

● 第2代団委員長 中嶋昭雄 さんご逝去

去る11月17日に、第2代団委員長で団顧問の中嶋昭雄さんがお亡くなりになりました。享年81歳でした。今年8月に亡くなられました初代団委員長 輿重幸さんと共に、団創設以来副

団委員長として、その後、阿見第1団に団名を変更した平成初期まで団委員長として、団の運営にご尽力されました。ご冥福をお祈りいたします。



BVS 隊の11月の活動

● 落ち葉を集めよう

11月9日(日) ビーバー隊は、小池城址公園で落ち葉拾いをしました。カブ隊にも負けず劣らず、みんなで協力して、たくさんの落ち葉を集めました。落ち葉を集めた布団の中でみんな楽しそうに寝転んでいましたね。落ち



11月9日

葉拾いの後は、ゲームで思い切り遊びました。「だるまさんがころんだ」や「カンケリ」では、隊長のほうがかばってしまいました。スカウトみんなの元気には脱帽でした。

● 畑の中で秋を探そう!! いもほりだ~!!

11月30日(日) 今日、恒例のさつまいも掘りです。佐藤石材店さんのご好意により、毎年畑を貸していただいております。心より感謝しています。

スカウトのみんなはお互いに競争しながら、大きなさつまいもをたくさん掘っていました。あまりにも多く掘り

● ビーバースカウト隊

幼稚園年長~小2:8月



11月30日

すぎて、持ってきた袋が足りなくなるくらいでした。

保護者の方のご協力をいただき、掘りたてのさつまいもも使い、おいしいビバ鍋を作ってもらい、みんなおなかいっぱい食べていました。お家でもおいしいさつまいもの料理を食べていることでしょう。

CS 隊の11月の活動

● 小池城址公園の環境整備活動とハイキング 11月9日

カブ隊は、11月9日に、自分たちの住んでいる地域への奉仕活動を通して地域民としての意識を高めると、自然の恵みを感じて環境保護を考えていこうの2つを目的に、阿見町小池城址公園で、落ち葉集めと清掃活動をビーバー隊と合同で行いました。

公園にはいろいろな落ち葉がありました。集めた落ち葉は、フカフカのじゅうたんみたいで、その中に飛び込んで葉っぱと一体化して楽しんでるスカウト、リーダーもいました。



その後は、公園内で秋(季節)を感じるネイチャーゲームをしました。「大きな木の実」とか「大きな葉っぱ」とか「真っ赤な葉っぱ」などの指示によってそれらを時間内に集めてきます。組ごとにその大きさや真っ赤さを競ったあと、小峰副長の楽しく、ためになる植物(葉っぱ)の解説に、みんな真剣に聞き入って、「さすがだな! ツムラの研究者はすごい」と思ったのは私だけではないはずです。

昼食はみんなで持ち寄った食材を使って、キャンプ係さんが作ったカブ鍋を、フーフーいいながらおいしくいただきました。当日は少し寒かったので、いつも以上においしく、体も温まりました。

午後からは、小池城址からエリア67(若栗運動公園隣にある阿見第1団のキャンプ場)まで、組ごとに関所八

● カブスカウト隊

小2:9月~小5:8月



イクを行いました。途中3か所にチェックポイントが設けられ、スカウトは課題に少し頭を悩ませながらも、順調に? ゴールのエリア67まで全員、完歩。ハイクの途中に雨がパラパラ来たときにも、みんな元気で組旗を先頭に歩き、とてもかっこよく、たのめしいと隊長は思いました。

今回の活動場所の小池城址はトイレがなく、団委員、保護者の方に近くトイレまでピストン輸送していただき、無事に活動を終わることが出来ました、ご協力ありがとうございました。

BS 隊の 11 月の活動

●ボーイスカウト隊

小5：9月～中3：8月

●料理の鉄人 11月30日

今年も昨年度に続いて、「料理の鉄人」プログラムを行いました。

今回はの世界の料理がテーマでした。それぞれの班とも、前回よりも研究を

つんで、さらに腕を磨いてきたようです。出来上がった料理は、自慢できるレベルに仕上がって保護者の評判もよかったですね。次は、料理の鉄人野外

料理版を隊長は企画中です。薪の火を使った調理は大変ですが、ボーイスカウト本来の野外料理なればこそ、素晴らしいものを期待しています。



(ハヤブサ班) ニョッキ、サラダ、デザート。



(イーグル班) ハンバーガー、コーンチャウダー、マッシュポテト、アイス



(スワロー班) ゴーヤチャンプルー、ちんびん。

VS 隊の 11 月の活動

●ベンチャースカウト隊

中3：9月～高3：8月

●クリスマス集会の司会??? ベンチャーラリー 11月2日

今年のクリスマス集会は「音楽」集会ということで、ベンチャー隊は何をするか！ そうだ！ 「デトロイト・メタル・シティ」だ！ っというわけで、11月の活動は、その準備をするはずだった……が、月末になって某N副長から某K副長に「司会もだよ」というお達しがあって、急遽、司会進行の検討を始めることになったのでした。

また、来年3月に県内のベンチャーが集まって「ベンチャーラリー」というオリエンテーリングに似た競技会をエリア67周辺で実施することとなり、村田隊長から「いいか、地元開催だ。阿見1ベンチャーとしては、当然、万全期して迎え撃つべし！」という、檄が飛び、それへの対応も迫られてしまったのでした。うわあお！！

ということで、これから試験だというのに何かと忙しいベンチャー隊なのでした。みなさん、12月のベンチャー隊の活躍、乞うご期待！！です。

それから、スキー訓練の下見に行った副長から朗報が届いた。それは、ベンチャーハウスの参考となる建物の写真だった。カラーベニヤで作ったモングルのパオとかゲルとかそんな形の建物だ。これならば予算は大変少なく済むし、時間もあまりかからなそうである。……むむむ、どうしたもんだらうか。



RS 隊の 11 月の活動

● 11月は学園祭プロジェクト展開中です。

ローバー隊です。11月は大学の学園祭の時期なのです。今までのスカウト活動で培ってきた、知識と技能とチャレンジ魂をフルに発揮してがんばっています。そのため、ちょっとローバー隊としての活動はお休みして、個人として学園祭プロジェクトを展開しています。学園祭、たのしいよ～～！！



団 & 団委員会の 11 月の活動

● スキー訓練の下見と申込み 11月22～23日

11月22日～23日の日程で、スキー訓練の下見に行ってきました。

昨年までの田村屋旅館の予約が取れなかったことで、別なスキー場・宿を探したところ、草津方面で予約が取れました。今回、団・各隊合同で下見の実施になりました。

宿泊場所は、草津高原ユースホステルですが、格安の料金とアットホーム

な雰囲気の良い宿で、スキー訓練当日は阿見1団と千葉8団の2団体が宿泊予定です。スキー場は、日本で最初にできたスキー場の草津国際スキー場です。初心者から上級者まで、様々なコースを備えており、楽しみです。阿見から草津まで少々時間が掛かりますが、近くに草津温泉あり、大人から子供まで対応できます。

保護者の皆様へ お願いとお知らせ

● エリア67見回り依頼

団キャンプ場「エリア67」に隣接する「ふれあいの森」のログ製のトイレが、11月に不審火により全焼するという事件が起きました。

団では、エリア67の安全確保のために、3カ所ある入口に「無断立入禁止」の看板をすでに設置し、今後チェーンを張ること等を予定しています。また、団委員や指導者で定期的にキャンプ場の巡視を実施しております。

育成会員の皆様におかれましても、運動公園・ふれあいの森にお立ち寄りの際には、是非エリア67の見回りをお願いします。その際に不審なことがありましたら、団または各隊リーダーまで連絡下さい。

また、今後はキャンプ時の夜間トイレの対策を、特にボーイ隊の耐寒キャンプまでに、早急にトイレの整備をしなければなりません。年が明けましたら具体的な対策を実施していきますので、お声がけをしますので、ご協力をお願いいたします。

● 活動時のルール②

今回も先月に引き続き、保護者の皆さんに、隊活動時のルールについてお知らせします。

実は「活動中に子供に用があつて行ったのに会うことができなかった」という苦情に近い意見が寄せられました。これを含めて説明します。

このスカウトの活動はレクリエーション活動ではなく教育活動です。そういう意味では学校と同様だと思って

ください。例えば学校の授業中に勝手に教室に入って子供に会って用を済ませることは、常識ある保護者であればしないと思います。担任の先生や職員室の他の先生に声をかけてから、その指示に従って対応されると思います。スカウト活動においても全く同じです。

特にボーイ隊以上になると、今までもお伝えしてきたように「班」というグループで班長を中心とした自治による運営かなされています。その仕組みの中で、スカウトたちは教え教えられ、自己研鑽によって自分の力をつけ、それを互いに出し合い、また、班員としての責任と義務を遂行することで班をより高めていくことの醍醐味と素晴らしさを体感し、その意義と意味を体得し、自立と自覚を促しその後の人生に役立てていけるようになります。それが「班長会議」→「班活動」というスカウト立ちによる自治組織で行われます。自立のための第一歩です。これが教育的意図の大きな柱のひとつとなっています。この教育環境を提供・維持管理し、またその意図に沿って導くのが指導者の役目なのです。

そのため、ボーイ隊の活動時には、スカウトと直接コンタクトしないようお願いしています。ここが、カブスカウトまでと、ボーイスカウト以降の活動の方法の大きな違いとなっています。

途中帰宅の場合は、活動の区切りのいいところで、となりますので、時間に余裕を持って迎えに来ていただくようお願いいたします。

コラム BE WILD

● スカウトは誠実である

ある指導者研修で、「無断欠席」がありました。その方は、自らエントリーしたにもかかわらず、結局、最後まで連絡も何もありませんでした。

私たちはリーダーは、自分の生き様を以てスカウトを指導しています。再三、子供達には「ルールを守ること」の大切さを伝えていていると思います。

スカウトは「組」や「班」や「活動チーム」を作って活動しています。それは、全員が揃ってはじめて本当の力が発揮されるものです。1人が休むと他のスカウトへの負担が大きくなります。みんなが納得する理由で、それも事前に伝えられていれば「よし、みんながんばって補おう」という気持ちにもなり、チームが更にまとまるでしょうし、休んだスカウトも次回は気持ちよく参加できる環境がそこに作られるでしょう。しかし、無断で休んでしまった場合、それは単に「非難」の的にしかありません。その日の活動はどこか心の隅にシコリが残ったままの活動になるでしょうし、そのスカウトが次回の活動に出てきても、みんなの視線・態度の変化に気づくことになるかもしれません。指導者たちは、その些細な変化に気づき、休んだスカウトがすんなりと班や組に入れるよう支援する思います。いや、その前にそんなことが起こらないように、事前に「休む時は連絡するんだよ」と指導しているはずですし、それを保護者にも伝えてあります。個人中心の活動ではないんですよ、小集団を利用して、相互の関わり合いの中から人間性・社会を学んでいく教育活動なのですから。そこに自分の「責任」と「在り方」というものをしっかりと教えているワケです。

「スカウトは誠実である」……自らエントリーしながらの無断欠席。「信頼」は一度失ってしまうと回復することは容易ではありません。回復にはその何十倍も何百倍もの「信頼を取り返す」ための真摯な行動が必要になります。それでも回復できるかどうか……。

むむむ、私ももう一度、心に手を当てて顧てみましょう。